

Meridian 展示会通信第72号



第72回有瀬図書館ギャラリー展

我が家の 宝物



開催期間

2024年11月10日(日)～11月30日(土)

開催場所

有瀬図書館本館2階エントランス展示コーナー



第七十二回 有瀬図書館ギャラリー展

『みんなの宝物たち』

皆さんは宝物がありますか？

本企画では受講生が持ち寄った
宝物を展示しています。
この展示会を通して、
みなさんの

「ものを見つめ直す」
「ものに思いを馳せる」

機会になればと思います。



学生インタビュー

- Aくん: キャプション（説明の紙を台紙に貼る作業）が大変でした。みんなと協力して展示会を成功させようと頑張りました。
- Fくん: 自分の持ってきたものの展示説明を考えるのが楽しかったです。ハリパネを切る作業をする時不備がないように切るのが難しかった。
- Yくん: 資料の分類分けや、分担、総括を考えることが大変でした。全体を通して展示構成を考えていくのが大変で、みんなと協力して頑張りました。
- Sさん: ポスターと大看板のデザインを作りました。見栄えが良くて情報が伝わりやすいようにデザインを作ることを心がけました。
- Mさん: ポスターを貼る作業や挨拶文などの制作をしました。慣れない作業でしたが、慎重に行うことができました。



我が家の宝物

歴史系



フィルムビデオカメラ

camera



平家物語

book



銅鏡

mirror

民族系



ファンタとコカ・コーラの瓶

bottle



豚肉石

Pork Stone



つまみ細工

Tsumami crafts

準備の様子



ごあいさつ

日本あるいは日本国民にとって貴重なモノ、日本歴史を語るにあたって重要なコトは、「重要文化財」というものに指定されます。2024年度神戸学院大学博物館学芸員課程では、受講生各自が「我が家の宝物」を展示資料として持ち寄りました。

私たちは、個人で保管していたものや家族・親戚から譲り受けた「私の重要文化財」を「我が家の宝物」として取り上げることにしました。

小テーマは、歴史系と人類・民俗系の2つに分けましたが、資料数は人類・民俗系の方が多くなりました。一見、バラバラに思われる資料群ですが、これらの宝物には思い出や記憶がともなっているものです。私たちやその関係者のみならず、みなさんにとっても、「ものを見つめ直す」、「ものに思いをはせる」機会にしたいと考えています。

このような思いのもと、私たちの日常、思い出にまつわる品を「我が家の宝物」としてみなさんに紹介することになりました。

開催にあたってお力添えをいただいた方、資料を提供していただいたみなさん、本学有瀬図書館の関係者のみなさんに感謝の意を表します。

神戸学院大学博物館課程

青木健太 勢井志菜 上野駿太 矢野開人 辻雅之 松本妃莉
井上まどか 藤井弘幸 嘉嶋祐太 天羽未空 中岡明海

神戸学院大学図書館 展示通信 Meridian 第72号

2024年11月10日発行

発行、編集：神戸学院有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518